



北松西高だより



e-mail : hokushounishi-h@news.ed.jp HP : <http://www2.news.ed.jp/section/hokushounishi-h/>

第9号 令和2年12月24日

◆1月の行事予定◆

日	曜	行事予定
1	金	元日
2	土	3年共通テスト直前対策模試
3	日	3年共通テスト直前対策模試
4	月	3年冬季学習会～7日 2年インターンシップ(～7日)
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	始業式 1・2年α冬季課題確認テスト① 服装頭髪検査・自転車点検 3年考査時間割発表
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	2年α冬季課題確認テスト②
13	水	3年学年末考査①
14	木	B日課 3年学年末考査②(2科目実施) 大学入学共通テスト結団式・出発
15	金	3年学年末考査③
16	土	大学入学共通テスト 1・2年進研記述実力試験 2年β就職模試
17	日	大学入学共通テスト 2年進研記述実力試験(LAM)
18	月	3年学年末考査④ 大学入学共通テスト自己採点
19	火	ロードレース大会 3年二次特編開始
20	水	3年考査返却特別時間割
21	木	B日課 商品開発デー⑩
22	金	3年魚おろし郷土料理教室(①～⑤) ⑦カット6コマ日課
23	土	英検一次
24	日	
25	月	2年修学旅行(広島)～28日まで
26	火	
27	水	3年自宅学習開始
28	木	
29	金	45分短縮授業
30	土	
31	日	

「喜ぶ」という魔法

北松西高校 教頭 松添 秀喜

早いもので、師走もあとわずかになりました。今年もいろいろとありがとうございました。特に今年はコロナ禍にも関わらず、創立70周年のお祝いの年ということもあり様々な場面で、同窓生・PTAの皆様をはじめ、多くの小値賀町民に『喜んで』いただきました。改めて深く感謝申し上げます。

さて、『喜び』といえば、興味深い話があります。スタンフォード大学のマクゴニガル博士という人が「他人の幸せを喜ぶことは、自分にも周囲にも大きなメリットがある」という論文を書いています。そこでは、喜ぶことで、人は人とのつながりを強化でき、しかも嫉妬や怒りなどのマイナス要素も取り除けるとも言っているのです。まさに「魔法」です！

ところが人ができていない私にとって、他人の幸せを喜ぶということは難しいものです。そこでそう深く考えず、相手を褒める、つまり祝福するところから始めればよいではと思うようにしています。人は祝福することで、どんどんその人のことが好きになっていき、逆に褒めてもらおうと人はうれしくなるものです。まさに「喜びの連鎖」ということであり、「喜んでいれば、喜びというものが喜んで集まってくる」という格言もあります。

さて、令和3年！小値賀町の皆様に、来年も北松西高のことを喜んでいただけるようにもっと頑張りたいと思っております。どうぞ引き続きご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。



English Day

12月8日(火)に本校体育館でEnglish Dayを行いました。今年度は校種別での開催となり、2年生によるポスタープレゼンテーションや、創立70周年記念の探偵クイズを行いました。探偵クイズでは、縦割りの班に分かれて英語での活動を行いました。班の活動において、何とか英語で相手に伝えようとする姿が見られました。



赤い羽根共同募金活動

12月12日（土）小値賀港ターミナルにおいて赤い羽根共同募金の募金活動を実施しました。

小値賀港を利用する方々や小値賀港で働く方々などからも「募金活動頑張ってるね」という応援の言葉とともに募金をしていただきました。今回のターミナルでの募金活動で5,992円を集めることができました。校内の募金とともに社会福祉協議会へ寄付したいと思います。



新任の先生の紹介

12月7日より新しい先生をお迎えしました。よろしくお願いいたします。

講師（英語）	
宮木 真貴	
前任校 島原翔南高校	
みなさん、こんにちは。小値賀に来て1ヵ月も経っていませんが、生徒の皆さんや地域の皆さんのおかげで、充実した日々を過ごすことができます。	

小中高一貫教育後期「人権学習」

12月1日（火）に本校体育館で小中高一貫教育後期の人権学習を行いました。本年度は「新型コロナウイルスがもつ3つの顔を知ろう」というテーマで、中学校2年生から高校3年生までが縦割りグループを作り、グループワークを通して偏見や差別につながる考え方や行動に気づき、差別をうまない社会づくりに必要なことを考えました。どの班でも積極的に話し合う姿が見られました。



2年県内就職に関する講演会

12月10日（木）、長崎県産業労働部政策監の貞方学様をお招きして、県内就職に関する講演会を開催しました。長崎県の人口、経済の現状と今後の見通しと長崎県の行っている対策、世界で活躍する県内企業についてお話していただきました。講演を受けて、大都市ではなく地元に残るからこそできることに気づき、自分達を育ててくれた地元の未来に貢献したいという思いが強くなりました。



卒業レポート発表会

12月17日（木）に小値賀町議会にて令和2年度卒業レポート発表会を行いました。今年度は3年生が「環境班（松枯れ）」「環境班（藻場）」「産業班」「防災班」、「観光班」の5つに分かれ、それぞれ小値賀の活性化のために高校生の視点で発表を行いました。発表会には本校の「アイランドチャレンジ」事業のアドバイザーである長崎県立大学の中島洋特任教授にもお越しいただき、「高校生が実際に体験できることを考えて実行している点は高く評価できる。この活動で課題発見・解決力やAI時代に対応できる行動力を身につけたみなさんは『自分は地域のために役に立ってる』という思いを強くすることができており、すばらしい発表だった」とのお言葉をいただきました。

今回の発表会までに、インタビューや資料提供など島内外の多くの方々にご協力いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

